

水彩画教室 「鶏頭満開の風景／栃木県・那須高原」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

子どもの頃 自宅から駅に向かう道に 鶏頭(ケイトウ)がたくさん咲いていました 誰かが大事に育てていたのでしょうか 母に花の名を聞いたら「ケイトウ」と教えてくれましたが 私はずっと「ケイト」だと思っていました 花の質感が毛糸に似ていたからです あとから「ケイトウ」---つまり「ニワトリの頭」という意味だとわかって なるほど~と思いました 今那須の山麓には鶏頭が満開です!



これが完成した絵です



1、下絵はまあこんな感じ 那須連峰の中でも活火山の「茶臼岳」がポイントです ほかの峰とは色もちがいます



4、近くの鶏頭は「縦の小刻みのタッチ」 遠くの鶏頭は「横に流すタッチ」で良いでしょう



2、空からです 雲は塗り残して 少し「ブルー+グレー」で薄く影をつけるのです 立体感ですね 鶏頭の花畑は とりあえず黄色く塗っておきましょう



5、山の立体感を少し意識します この位置からの那須連峰、左(南)からの太陽光が当たるので 峰や木々の右側(北側)に影ができます



3、那須連峰は まず紫を薄く塗ってみましょう



6、遠くの森も何色かの緑で描き起こします 鶏頭も一気に描こうとは思わず 少しずつ色を足していきましょう 最後に濃いところ(暗いところ)に少し強い色を置きます